

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	37	日頃の利用者の様子や受診時の報告は、各ユニットの主任が中心となり、家族に電話やメール、郵便などで丁寧に伝えられている。現在は新型コロナウイルス感染対策等で面会制限も設けられていることもあるが、新入職員や利用者ごとの担当職員を家族に紹介する場面が少なく、今後は積極的に作成している文書に紹介記事を盛り込むなど、連絡できる取り組みの工夫が望まれる。また家族が気軽に意見が伝えられるよう、職員は意向の引き出し方や質問の仕方についても検討することを期待したい。	・利用者さん家族に、施設職員の事をより身近に感じてもらい、利用者さんと職員の日頃の関わりや、業務を理解してもらおう。 ・家族から施設や職員個人にも声を掛けやすい関係性になり、質問や意向を受けられる。 ・職員が利用者さんだけでなく、家族に対しても責任感を持って業務にあたることができ、ケアの向上、接遇や信頼に繋がる。	請求書に同封している広報を活用して、 ・新人職員の紹介 ・職員の移動の報告、 ・利用者さんの担当者を写真、コメントなど入れ紹介する。	12 か月	
2	18	利用者の口腔内の痛みや腫れ等があれば、職員はすぐに歯科医の受診につなげている。 毎日自分で歯磨きできる利用者もいるが、職員は定期的に口腔内の状態を把握できていない。利用者にとって抵抗感なく、定期的に利用者一人ひとりの口腔内を確認できるような取り組みを期待したい。	・食事量の減少や会話時の異変があれば、利用者さんに、すぐに口を見せていただける関係性を作る。 ・利用者さんが、口腔内に関心を持つ環境にする。	食事前の口腔体操 アー・イーの体操、舌を出す体操時に口腔内や歯のチェック、口の動きのチェックを行う。 嚥下や歯の重要性を声かけしながら行い、利用者さん自身も口腔内に関心も持ち、職員に言いやすい環境を作る。 食事や会話時の異変があればすぐに口を見ることのできる関係性を作る。	12 か月	
3	51	日頃から行政や地域包括支援センターなどの関係機関との連携は積極的に取れていることもあり、管理者は今後地域住民が事業所に来所するきっかけ作りを模索している。現在、コロナ過への対策や配慮など課題が多いが、地域のケア拠点としての機能が発揮できるよう、今後の取り組みを期待したい。	年に2度の避難訓練に地域の方に参加していただく。	近所の方に避難訓練や消火訓練に参加していただく。歩行できる利用者の誘導や避難してからの見守り。 消化器を使用しての消化訓練や心肺蘇生訓練などに参加していただく。	12 か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。